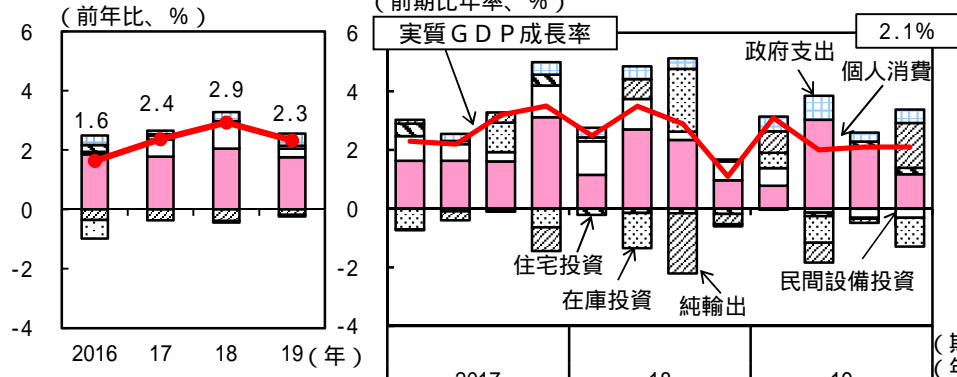


# 1. アメリカ

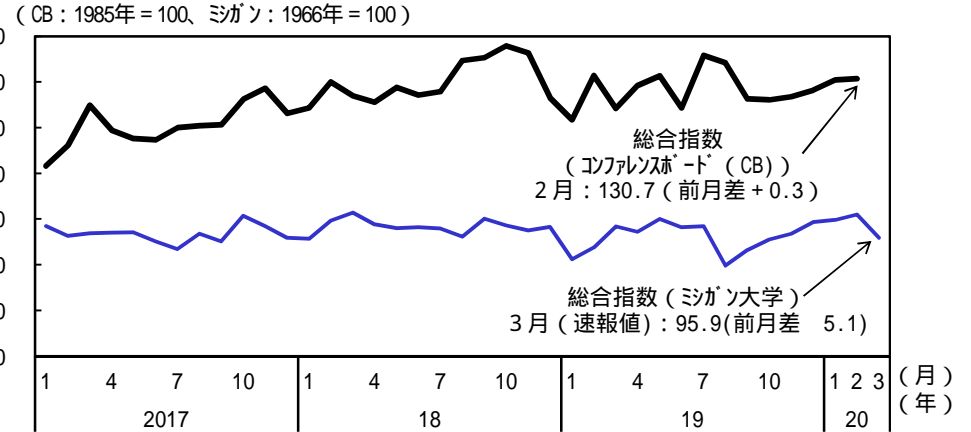
アメリカでは、感染症の影響により、経済活動が抑制されており、足下で景気の回復が下押しされている。

実質GDP成長率（2次推計値）  
2019年10 - 12月期は前期比年率2.1%成長

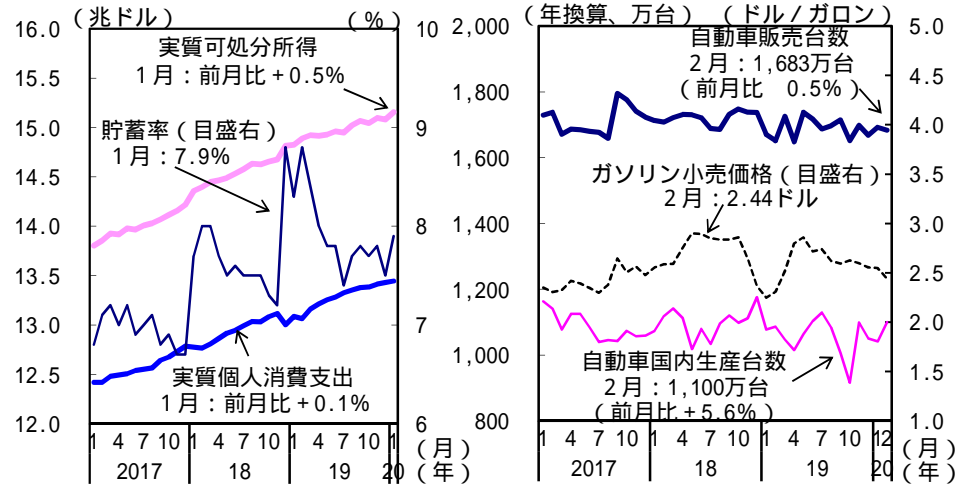


(備考) 2019年10 - 12月期の寄与度(%)は以下のとおり。個人消費：1.2、民間設備投資：0.3、住宅投資：0.2、在庫投資：1.0、政府支出：0.5、純輸出：1.5。

消費者信頼感指数

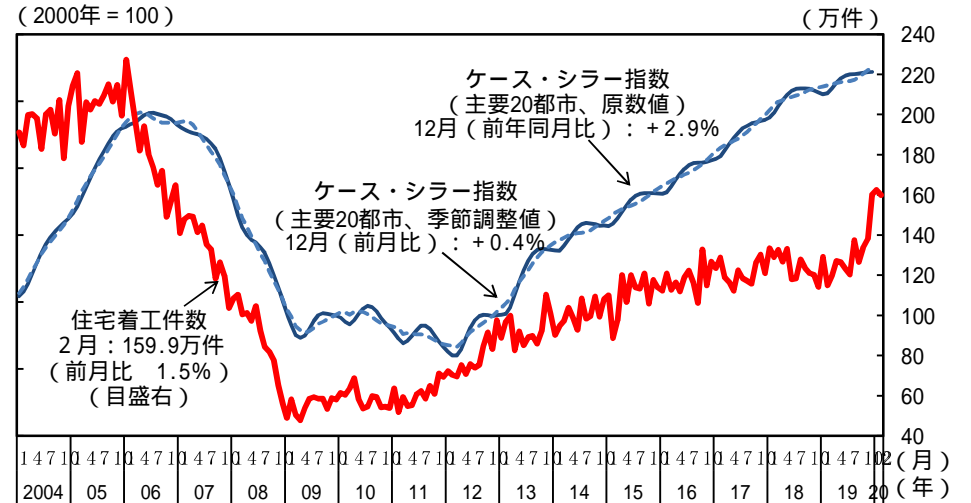


消費は緩やかに増加、自動車販売台数はおおむね横ばい

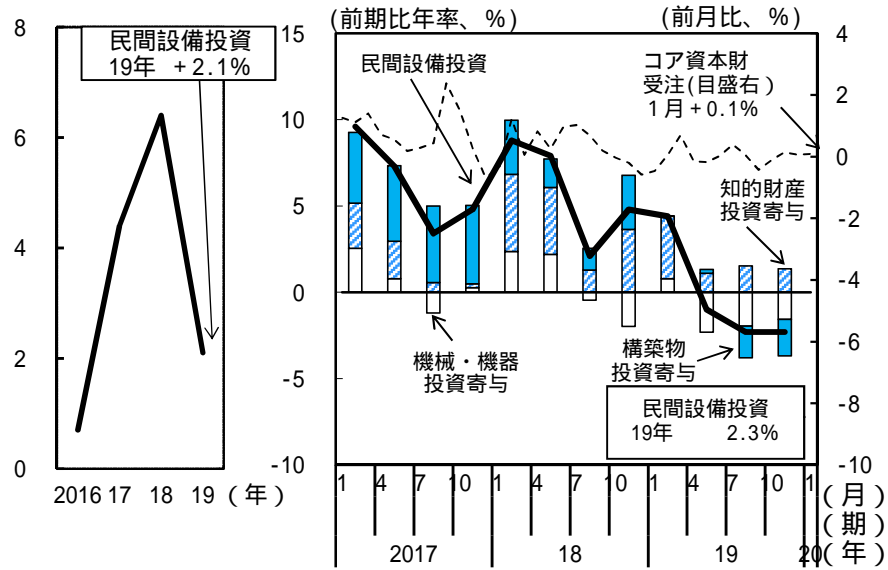


(備考) 月次の値は年率換算。

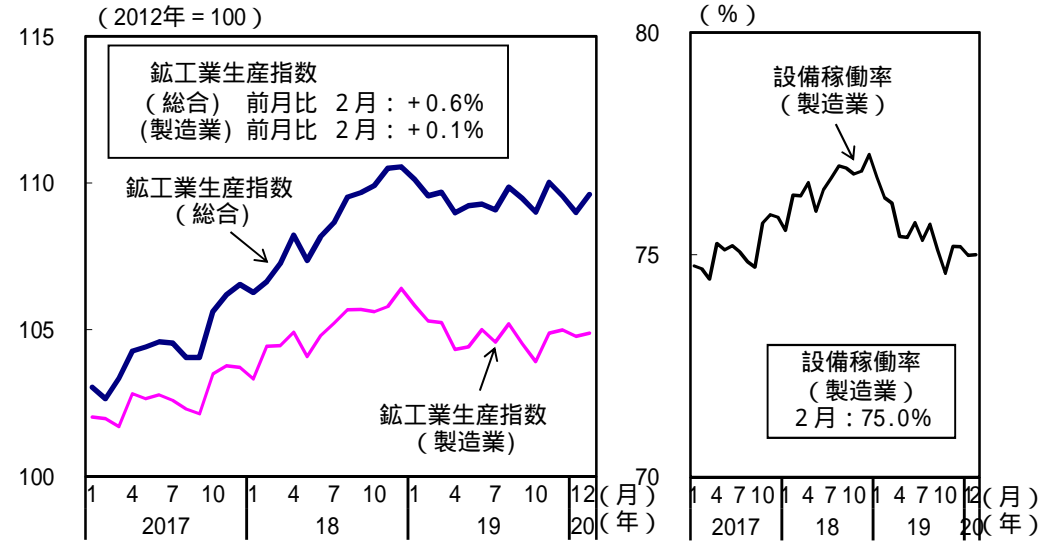
住宅着工は増加、住宅価格は緩やかに上昇



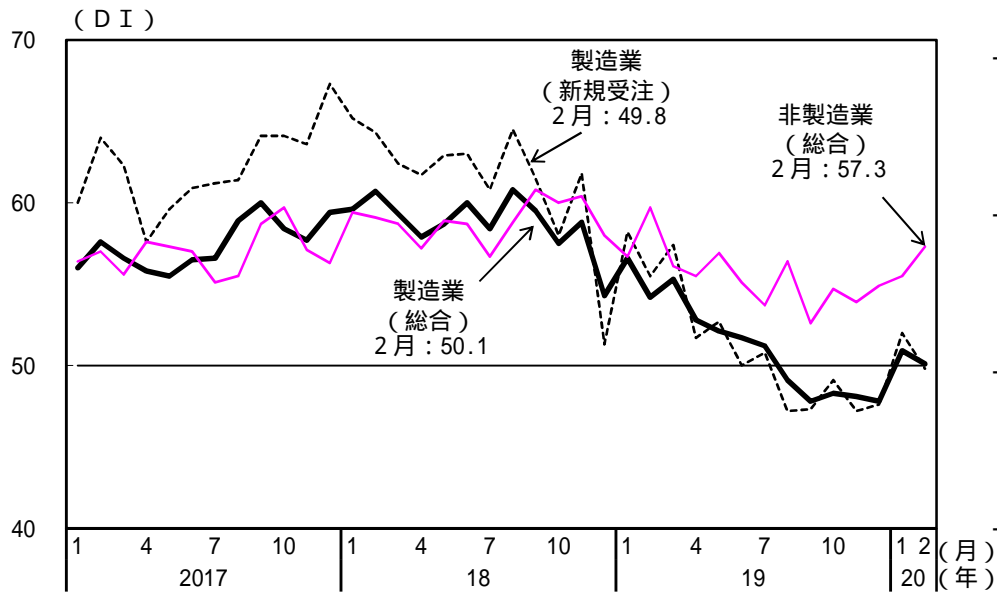
### 設備投資は減少



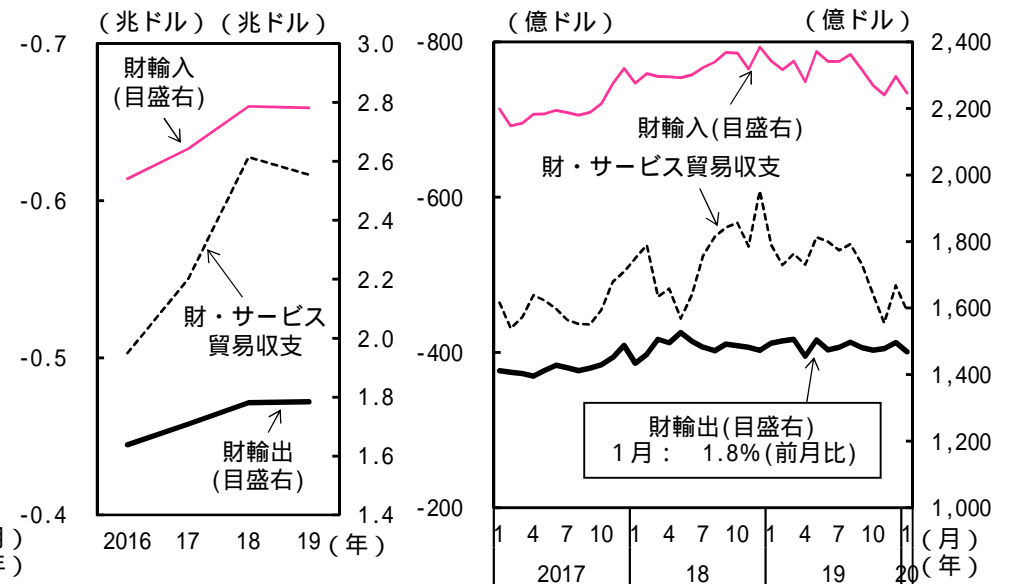
### 生産は弱い動き



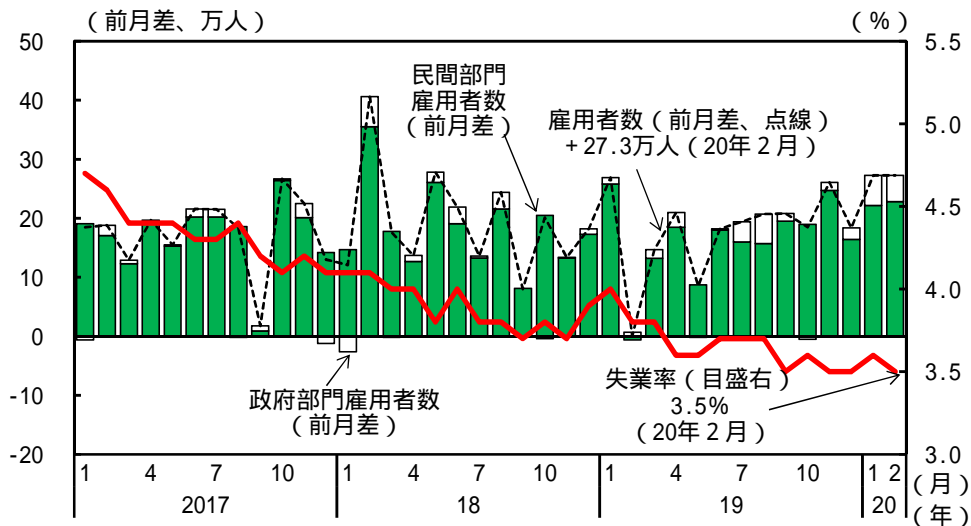
### 製造業の景況指数はおおむね横ばい



### 財輸出はおおむね横ばい

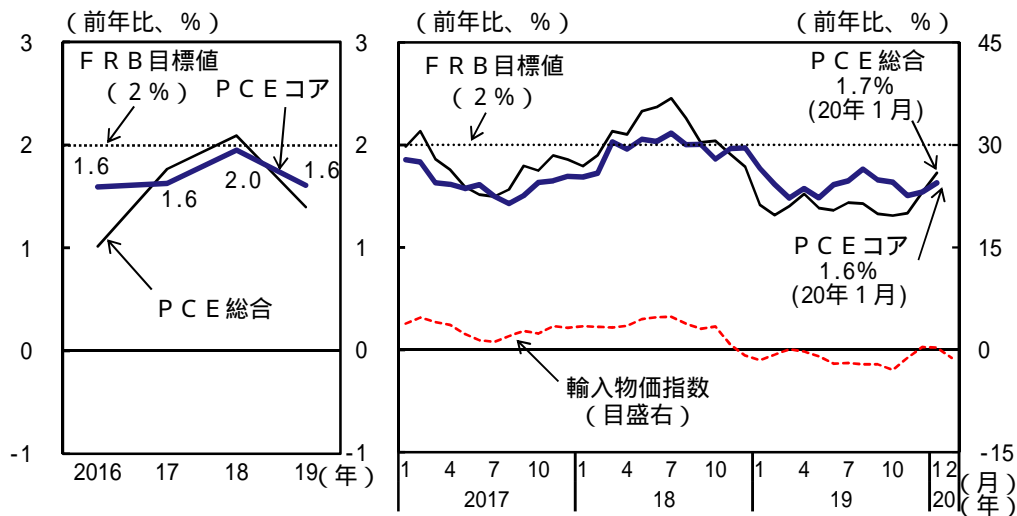


### 雇用者数は増加、失業率は低水準でおおむね横ばい



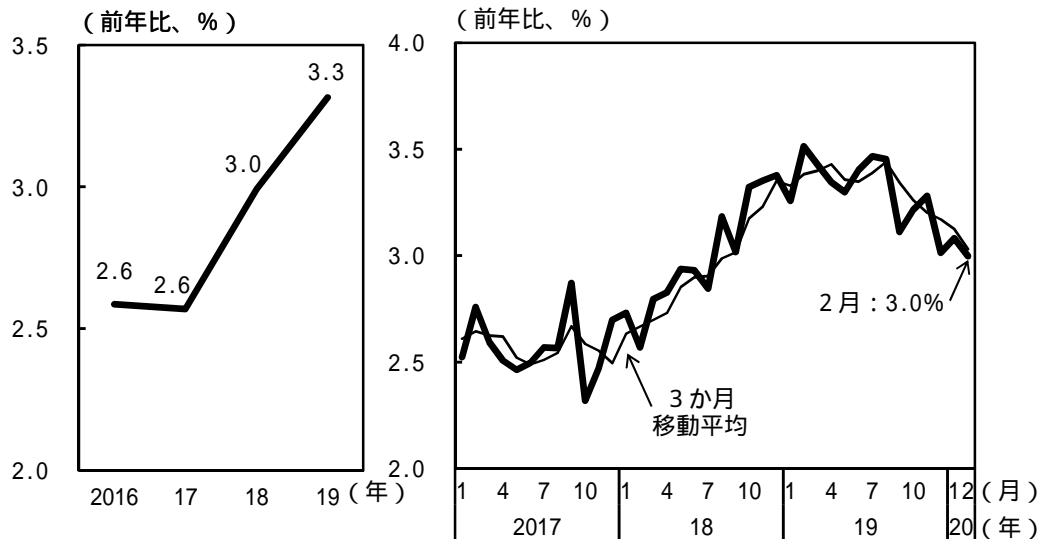
(備考) 雇用者数は非農業部門。

### コア物価上昇率は安定



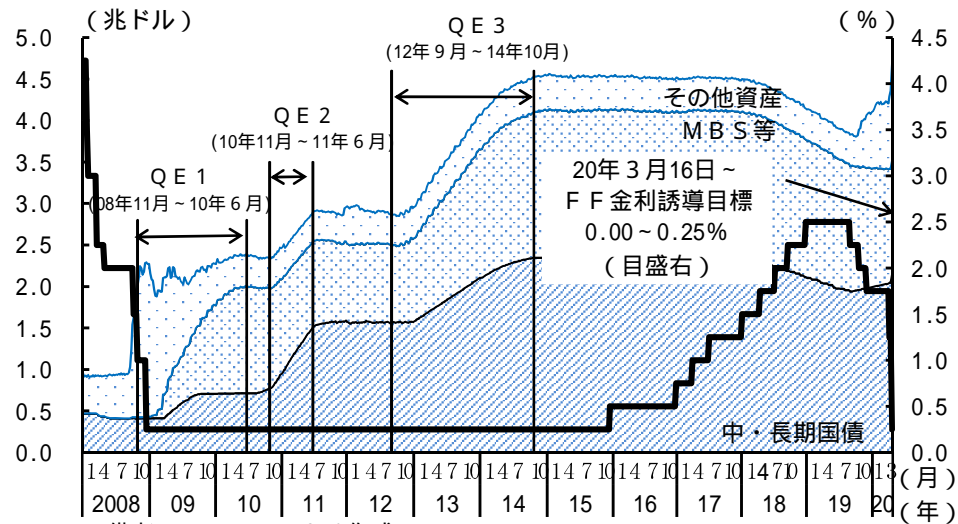
(備考) 1. 上図のPCEは、個人消費支出デフレーターを指す。  
2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

### 賃金の伸びはやや低下



(備考) 賃金の伸びは全雇用者の時間当たり賃金の前年比。

### 金融政策



(備考) 1. FRBより作成。  
2. FF金利誘導目標については、上限を指す。